



データサイエンスは  
世界のしくみに気づく力だ。

## 和歌山大学 データ・インテリジェンス教育研究センター

Data Intelligence Education and Research Center, Wakayama University



「分かる」だけじゃ終わらせません  
「できる」までしっかりと導く授業です  
私たちと一緒に、新しい学びへ一歩踏み出しましょう！

和歌山大学 システム工学部 システム工学科 教授 吉野 孝

データ・インテリジェンス教育研究センター センター長の吉野孝です。

皆さん、データサイエンスやAIにどんなイメージを持っていますか。難しそう、専門の人だけが触れるもの、そんな印象があるかもしれません。でも実は身近なところで活躍していて、仕組みを知るほど面白くなる分野なんです。スポーツの戦術分析、映画や音楽のおすすめ、気象予測、医療の支援、そしてゲーム開発まで、データとAIは現代を支える「新しい道具」として欠かせない存在になっています。

本センターでは、「分かる」だけじゃ終わらせません。「できる」までしっかりと導く授業です。教科書では触れられない実践力を身につけるために、企業から提供される実データを使ったハッカソンや演習を多く用意しています。自分の手で試し、仲間とアイデアを出し合い、失敗を重ねながら工夫して乗り越えていく。その積み重ねが、本物のスキルへつながります。

基礎的なデータ分析から最新のAI技術まで、段階的に学べるカリキュラムを整えており、大学生はもちろん、高校生の皆さんにも広く開かれています。ここで得られる経験は、大学での学びにも将来の進路選択にもきっと役立ち、自分の可能性を広げてくれます。私たちと一緒に、新しい学びへ一歩踏み出しましょう。実践的なスキルを磨いて、データが拓く未来に挑戦していきましょう。

沿革	
2017.12	データ・インテリジェンス教育研究部門設置準備室を開設
2018.4	データ・インテリジェンス教育研究部門 発足
2018.7	株式会社オーカワと連携協定締結
2018.8	株式会社サイバーリンクスと連携協定締結
2018.12	総務省統計局・独立行政法人統計センター・和歌山県と四者連携協定締結
2019.5	株式会社紀陽銀行・紀陽情報システム株式会社と三者連携協定締結
2022.8	「データサイエンスへの誘いコース」が文科省数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度「リテラシーレベル プラス」に選定
2023.8	「データサイエンスへの誘い 応用基礎レベルコース」が文科省数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度「応用基礎レベル プラス」に選定
2025.3	株式会社Mikiと連携協定締結
2025.4	データ・インテリジェンス教育研究部門からデータ・インテリジェンス教育研究センターへ改組

官公庁・産業界との連携

講師派遣・教育コンテンツ開発

- 総務省統計局
- 独立行政法人統計センター 統計データ利活用センター
- 和歌山県 Wakayama Prefecture

連携協定・演習環境・演習用データ提供・技術指導等

- CYBER LINKS
- 銀行をこえる銀行へ 紀陽銀行
- KS KIYODA SYSTEM
- オーカワ
- 株式会社Miki

データ関連人材育成プログラム関西地区コンソーシアム

DuEX Data utilizing Expert program

連携校 大阪大学・神戸大学・京都大学・滋賀大学・奈良先端科学技術大学院大学・大阪公立大学等

- 標準カリキュラム提供
- 単位互換
- eラーニング科目相互利用
- インターンシップ(企業・学生マッチングイベント実施)等



## 本学のデータサイエンスの学びは、文部科学省から認定を受けています

令和5年8月、「データサイエンスへの誘い(応用基礎レベル)コース」が文部科学省から「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)プラス」に認定されました。

「学生がデータを使って問題を解決できる力を身につけられる」と国が認めた大学だけが選ばれます。

大学等单位でプラス選定された教育機関は、近畿で2機関です。(令和7年12月時点)

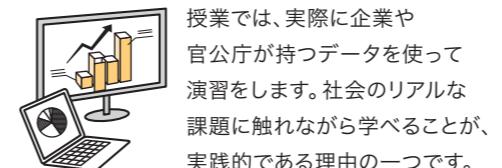
### すべての学部・学環生が受講できる！

全学生を対象に、一貫した教育プログラムを構築しています。

全員が基礎から発展的内容まで横断的に学ぶことができます。

1年次から大学院・社会人まで、連続した内容、実施形態でプログラムが受けられます。

### 地元企業・官公庁との連携による “実データ演習”が可能



授業では、実際に企業や官公庁が持つデータを使って演習をします。社会のリアルな課題に触れながら学べることが、実践的である理由の一つです。

### 動画による “オンデマンド型授業”を導入



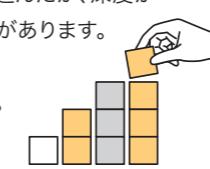
教員の顔が見えるオンデマンド型授業です。時間や場所を選ばず学べること、繰り返し視聴できることが利点です。

### 多様で充実した “サポート体制”で学習を支援

チャットボットの導入やMoodleの「質問コーナー」、オンラインサポート室の設置など、質問・相談が気軽にできる環境を整えています。オンラインサポート室では受講生同士の交流もできます。

▶4ページ参照

### オープンバッジで “学習成果を見える化”



自分の学びがどこまで進んだか、深度がバッジで分かる仕組みがあります。自分自身の成長を実感しやすいのが特徴です。

▶5ページ参照

### 高校生向け “先取り履修”をスタート

高校生を対象に科目等履修生(先取り履修)の受け入れを令和7年度より開始しました。

当センターから教員が各高校へ出向き、出張授業も行っています。

▶6・7ページ参照



# Become a Data Scientist

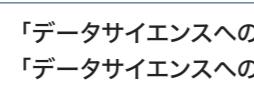
データサイエンスを楽しく段階的に身につけて

## データサイエンティスト になろう!!

**データサイエンスへの誘いコース**

文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)プラス」に認定▶▶

**すべての学部・学環生が必修科目として全員受講!**

修了要件  


「データサイエンスへの誘いA」「データサイエンスへの誘いB」の2科目を修得

**データサイエンスへの誘い 応用基礎レベルコース**

文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)プラス」に認定▶▶

**すべての学部・学環生が受講可**

修了要件  


プログラム構成科目(10科目、14単位)のうち10単位以上を修得

### | Support | 多彩な学修サポートで楽しく学べる

- オンデマンド教材・BYOD学生必携パソコン・Teams・eラーニングシステム・掲示板・チャットボット等を活用した修学サポート
- EXCEL・BIツール演習・JupyterHub等を活用したR、Python演習



**チャットボット**

さっと使って質問しやすい!

他の人の質問も参考にできる

学生の質問(具体的)

システムの自動応答

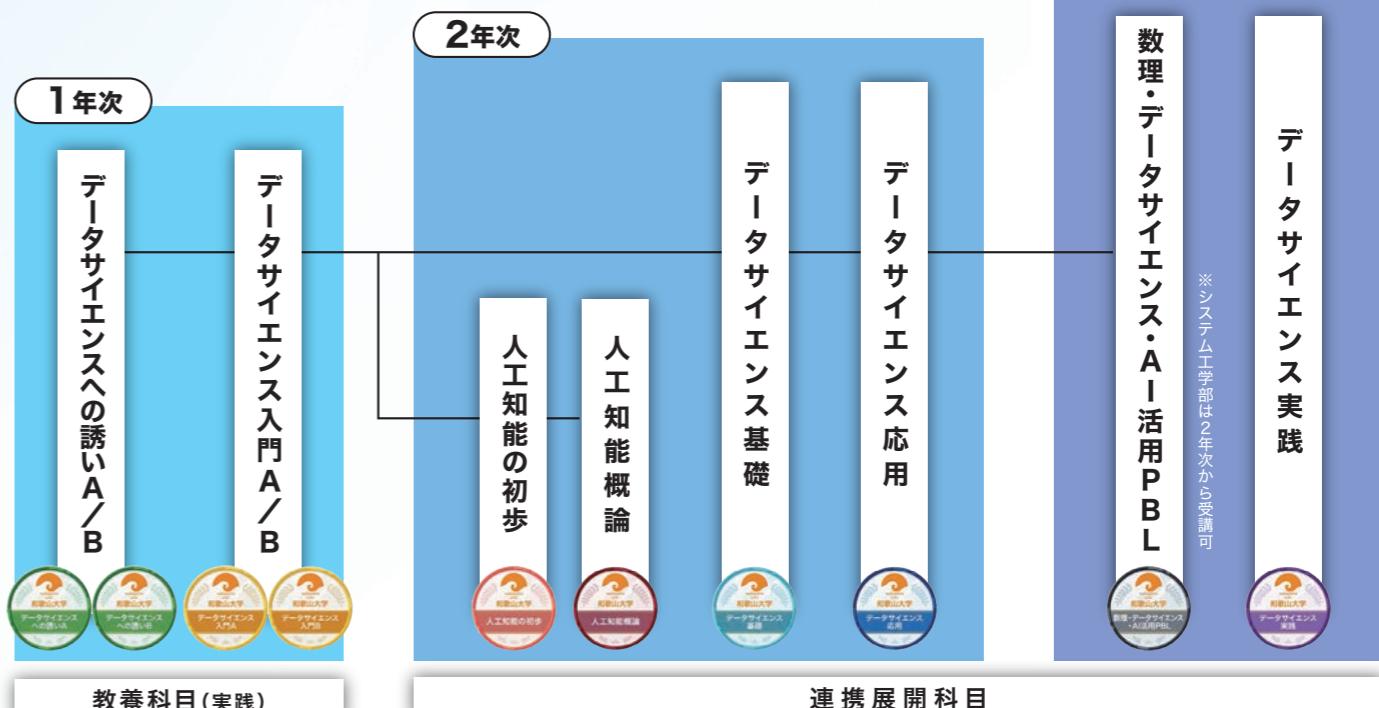
学生の質問(あいまい)




### | Certification | 各科目と単位取得の積み上げオープンバッジを発行

- 学修履歴をデジタルで証明! 一生涯みなさんの役に立ちます

※教育プログラムの修了証として、デジタル修了証の一つである「オープンバッジ」を導入しています。



### オープンバッジ授与式

データサイエンス・AI科目群から10単位を修得した学生に、オープンバッジ「ダイヤモンドレベル」を授与します。

毎年対象学生に対して、記念品授与式を開催し、手渡しています。皆さんも「ダイヤモンドレベル」を目指して、頑張ってください!



### データサイエンスハッカソン

データサイエンスハッカソンを南紀・白浜で開催しています。

1年生から大学院生を含む選抜チームが学内外から参加し、データ分析による課題発見・解決の技能を競います。優秀チームにはメダルを授与します。2025年は2泊3日の合宿形式で行いました。



# 「わかる」だけじゃない、 「今すぐ使える」スキルを高校生へ。 未来の学びへ飛び込もう！



## 高大連携・先取り履修プログラム

高校生の皆さん、大学の授業を先取りで体験してみませんか？

データを扱う仕組みがわかる人気の授業です。

「データサイエンスへの誘い A/B」が、高校生から学べるようになりました。

初めてデータサイエンスに触れる人に向けた入門科目です。

データを分析・活用する楽しさや大切さを学べます。

和歌山大学へ入学すると、申請により卒業に必要な単位として認められます

### POINT



#### 教員による出張講義実施中

- データから面白い発見をする方法を学ぼう！
- 親に話したくなるネットの話！

内容や講義時間はご希望に応じて調整して実施しています。



### point 1

手を動かして  
学ぶ

演習課題を自分の手で解いていきます。  
目の前の問題を論理的に解決する力が身につきます。



高校時代は数学といえば座学という印象でしたが、データサイエンスは学んだ理論を実際に形にして活用するところまでが一つの流れになっています。文系的な発想と理系的な知識の両方が求められるため、数学が苦手な方でも取り組みやすい学問です。

中松陽人  
社会インフォマティクス学環3年(2025年度)  
東大阪市立日新高等学校出身



大学では想像以上にエクセルを使う機会が多く、授業で学んだ基本操作がとても役立ちました。オンラインだから理解できるまで繰り返して動画を見られるのも助かります。「ダイヤモンドレベルバッジ」の獲得を目指して頑張ります！

北東花音  
システム工学部2年(2025年度)  
和歌山県立桐蔭高等学校出身



最初はデータがただの数字に見えて戸惑いましたが、グラフ化や整理をすると一気に役立つ情報に変化します。データの価値を発見できた瞬間が一番楽しいです。企業のHPで実績をみるといった場面で、数字への苦手意識がなくなったと実感しています。

森脇蒼誠  
社会インフォマティクス学環3年(2025年度)  
和歌山県立桐蔭高等学校出身

### point 2

## 好きな場所・ 時間で学ぶ

授業は遠隔で実施します。  
マイペースに学びを進められます。  
質問は「オンラインサポート室」で先生や先輩にフォローしてもらえます。



友人と一緒に授業を聞き、疑問を協力して解決したので学習がスムーズでした。プログラムの最後には地元企業の実データを用いた実践的な授業にも挑戦しますが、仮説を立てて分析・評価し経営戦略を考えるという体験は、データ活用の全体像を学ぶ貴重な経験になりました。

高山伊織 システム工学部4年(2025年度) 和歌山県立桐蔭高等学校 出身



週に1度のオンラインサポート室は、大学に行かずに先生に質問ができるため利用しやすかったです。講義はオンデマンド形式なので、大阪の自宅や旅行先の宿で受けたこともありました。IT系の仕事ができる人材は需要も高く、少しでも興味のある方はぜひ受けたいです。

持田麻友 社会インフォマティクス学環2年(2025年度) 大阪府立東高等学校 出身



オンライン授業だけでなく、オンラインサポート室で直接質問や会話をすることで、先生と双方向の関係が築かれていると感じました。AIの登場など、激しい時代の変化に合わせ、常に先生方が新たなことに挑戦している姿が印象的でした。

井口拓己 ソニー株式会社  
大学院システム工学研究科修了(2024年度) 近畿大学附属和歌山高等学校 出身



何かを相手に伝えたいとき、経験や勘だけでは説得力が弱く、ぱんやりとした提案になってしまいがちです。データを用いて根拠を示すことで、自分の意見に自信が持てるようになりました。発表も相手に信頼される内容になったと感じています。

門田琉生 社会インフォマティクス学環3年(2025年度) 和歌山県立星林高等学校 出身

### point 3

## 未来に活かせる スキルを学ぶ

データから「正しさ」を見つける能力が身につきます。活用・分析方法を考えるのも、データサイエンスの楽しさの一つです。



文系だから難しい、関係ないということは全くありません。データを見つめるだけでなく、自分なりに読み解き新たなる価値や可能性を見つけ出す力は、商品企画や売上分析など社会のあらゆる場面で生きてくると感じています。

辻脇大祐  
経済学部4年(2025年度)  
和歌山県立橋本高等学校 出身



データサイエンスを学んだことで、データを鵜呑みにせず、本当に必要な情報を見抜く力が培われました。現在は授業の動画や課題を通して身に付けた技術を生かし、生成AI(LLM)によるコーディングにおいての要件・設計・ソースコードの整合性について研究しています。

田井聖凪  
システム工学部3年(2025年度)  
和歌山県立那賀高等学校 出身



実データの分析から企業へのプレゼンまで経験できる大学はかなり珍しく、とても刺激的でした。パソコンに不慣れだったため独学での習得は厳しかったと思いますが、先生方が一から丁寧に教えてくださり、今の私の技術力の基盤となっています。

嶋田さん  
ソニーグループ株式会社  
システム工学部卒業(2023年度)



お問い合わせ

和歌山大学  
データ・インテリジェンス教育研究センター事務室  
〒640-8510 和歌山县和歌山市栄谷930 Tel: 073-457-7195  
Mail: dtier@ml.wakayama-u.ac.jp  
<https://www.wakayama-u.ac.jp/dtier/>

和歌山大学 DTIER

検索



### 和歌山大学 データサイエンス授業 紹介動画



データサイエンス 和歌山大学 Youtube

検索